

令和3年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会・
水稲直播等低コスト技術検討会 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

水稲直播等の低コスト栽培技術は、稲作の低コスト化・省力化を図り、作期分散による経営規模の拡大、経営の複合化による所得向上の実現を目指していく上で重要な技術である。特に、「飼料用米・WC S用稲・米粉用米・輸出用米」などの新規需要米や加工用米など原料米の生産に当たっては、収量の飛躍的向上と併せて、直播栽培導入等によるコスト削減が求められているところである。

このような状況を踏まえ、東北管内における直播栽培等の低コスト技術の一層の普及・拡大、直播栽培を取り込んだ輪作体系の構築等を図って行く上での課題や、これらの解決に向けた技術開発、普及推進の方法等を検討するため、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター及び東北地域土地利用型作物安定生産推進協議会共催による直播研究会並びに水稲直播等低コスト技術検討会を開催する。

2. 主 催 農研機構東北農業研究センター、東北地域土地利用型作物安定生産推進協議会

3. 開催日時 令和3年8月30日(月) 13:30~15:30

4. 開催場所 農研機構東北農業研究センター(Web開催、Teamsで開催予定)
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

5. 議 事

(1) 農研機構からの情報提供と意見交換(50分)

① 東北地方を対象とした水稲直播栽培の技術選択を支援するWebアプリケーションの開発と検証

農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 笹原 和哉 氏

② 農業研究と普及現状とをつなぐアプローチ

農研機構東北農業研究センター 事業化推進室 高橋 渉 氏

(2) 各県における低コスト栽培技術等の導入状況と推進方向について意見交換

(約1時間:各県報告6分×6県=36分、意見交換30分)

【テーマ】

① 水稲直播栽培

② 高密度播種苗移植栽培

③ 自動水管理システム

(3) その他(情報提供等)

6. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、試験研究を担う地方独立行政法人、東北農政局、県行政・普及部局、「知」の集積と活用「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他運営責任者が必要と認める者

7. 参加申込み等

(1) 参加申込み

東北6県の公的機関：県内の参加者（行政、普及組織、試験研究機関）を「別紙1 参加申込書」に取りまとめ、8月18日（水）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてEメールにて報告してください。

上記以外：機関ごとに参加者を「別紙1 参加申込書」に取りまとめ、8月18日（水）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてEメールにて報告してください。

(2) 作成資料

上記5の(1)及び(2)の議事のため、報告者及び東北6県担当におかれては、「別紙2 資料作成要領」を参照の上、資料の作成及び提出をお願いします。

8. 事務局（問い合わせ先）

(1) 【参加申込先】

東北農政局生産部生産振興課内（担当：鈴木、伊藤）

住所：仙台市青葉区本町3-3-1（仙台合同庁舎A棟）

TEL：022-263-1111（内線4282、4087）

E-mail：risa_suzuki860@maff.go.jp もしくは akira_ito290@maff.go.jp

(2) 東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会事務局

農研機構東北農業研究センター技術適用研究チーム（担当：古畑）

住所：岩手県盛岡市下厨川字赤平4

TEL：019-643-3585 FAX：019-641-7794

E-mail：furuhata@affrc.go.jp

9. その他

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願い致します。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、出席者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・万一、会議出席者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。